# 令和4年度第1回今金町まち・ひと・しごと創生有識者会議

# 書面会議次第

1 報告事項

(1) 今金町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員の変更について

**新委員:佐々木弘司 委員(今金中学校長)**

旧委員:酒井　豊志 委員(今金中学校長)

変更理由:校長会での協議によるもの

2 議　題

(1) 令和3年度

今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生事業の内訳について

資料1

(2) 令和3年度

地方創生推進交付金に係る実施結果報告の評価について　資料2

(3) 令和4年度

今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生事業の内訳について

資料3

3 関係資料

① 地方創生に係る交付金活用事業内訳(H26～R4)　資料4

② 令和 3 年度企業版ふるさと納税の状況について　資料5

③ 令和3年度地方創生事業に係る参考資料　資料6

※ 第 2 次まち・ひと・しごと創生総合戦略　新規委員のみ送付

まちづくり推進課

令和3年度　まち・ひと・しごと総合戦略に係る地方創生事業の内訳

資料1

●基本目標 1.　今金町における安定した雇用を創出する

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 当初予算額 | 実績額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり | ・障がい者雇用促進事業 | 1,620 | 810 | 保健福祉課 | 障がい者雇用数<br>正職員2名(iスマイル2)<br>臨時 1名(JA今金町) |
| 地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興 | ・地域力再生プロジェクト事業<br>・ソーシャルタウン今金推進協議会補助事業 | 997<br>4,928 | 997<br>4,928 | まちづくり推進課<br>まちづくり推進課 | <br>推進交付金活用 |
| 産業後継者の育成奨励 | ・産業後継者育成奨励事業 | 0<br>1,000 | 0<br>1,000 | 農林振興課<br>まちづくり推進課 | 産業後継者奨励金(農業)0人<br>産業後継者奨励金(商業)1人 |
| 担い手の育成対策の強化 | ・担い手対策事業 | 4,000 | 1,400 | 農林振興課 | 新規就農者等への助成<br>申請件数4件 |
| 空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信 | ・空き店舗活用事業 | 372 | 372 | まちづくり推進課 | みんなの広場ひだまり家賃補助 |
| | 計 | 12,917 | 9,507 | | |

●基本目標 2.　今金町へ新しいひとの流れをつくる

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 当初予算額 | 実績額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 定住・移住対策に係る条件整備の構築 | ・新住宅リフォーム助成事業<br>・新マイホーム取得奨励事業 | 15,000<br>6,000 | 11,137<br>5,600 | まちづくり推進課<br>まちづくり推進課 | 申請件数 45件<br>申請件数 7件 |
| | 計 | 21,000 | 16,737 | | |

●基本目標 3.　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 当初予算額 | 実績額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積極的な結婚支援や社会気運の醸成 | ・結婚新生活支援事業 | 600 | 0 | まちづくり推進課 | 新世帯に家賃補助(上限300千円)<br>申請件数0件 |
| 町の特性を活かした子育て支援の推進 | ・不妊症治療費等扶助費<br>・子ども医療費扶助費（医療費軽減） | 1,000<br>19,225 | 317<br>9,745 | 保健福祉課<br>保健福祉課 | 不妊治療支援 申請数2件<br>医療費軽減申請数 4,278件 |
| 子育て支援による働きやすい環境をつくりだす | ・認定こども園いまかね施設給付費扶助費（保育料軽減） | 13,135 | 11,280 | 教育委員会 | |
| | 計 | 33,960 | 21,342 | | |

●基本目標 4.　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 当初予算額 | 実績額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 現在の生活基盤の維持のための支援の実施 | ・デマンドバス運行事業 | 4,230 | 8,000 | まちづくり推進課 | 八束白石、金原豊田、日進、田代稲穂<br>地域交通支援 市街地運行実施<br>利用人数3,337人(前年比438人減) |
| 広域連携による経済の活性化 | ・北渡島檜山4町連携事業 | 658 | 305 | まちづくり推進課 | |
| | 計 | 4,888 | 8,305 | | |

| 総計 | 72,765 | 55,891 |
|---|---|---|

# 令和3年度　地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

資料2

担当課事業効果　番号で選択

①地方創生に非常に効果的であった
②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった
④地方創生にあまり効果がなかった
⑤地方創生に効果がなかった

外部有識者評価　番号から選択

①総合戦略のKPI達成に有効であった
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

今後の対応　番号から選択

①追加等更に発展させる
②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

| 交付対象事業の名称 | | 所管課 | 種類 | 実績額<br>単位：千円 | 指標 | 基準値 | 指標値 | 実績値 | 実績値詳細内容 | 本事業終了後における実績値<br>事業効果 | 外部有識者からの評価<br>事業の評価（どちらかに○） | 外部有識者からの評価<br>外部有識者からの意見 | 実績値を踏まえた事業の今後について<br>今後の方針 | 実績値を踏まえた事業の今後について<br>今後の方針の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記入例 | 新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業 | まちづくり推進課 | 推進交付金 | 4,350 | 養護学校卒業生の雇用人数 | 0人 | 2 人 | 4 人 | ◆TTNコーポレーションに　2人<br>◆iスマイルに　2人 | ① | ①　② | 今後も積極的障がい者雇用の推進を図ってほしい。 | ③ | 今後も継続して障がい者雇用の充実を図る。 |
| 1 | 多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業 | まちづくり推進課 | 推進交付金 | 4,928 | 障がい者（道立養護高等学校卒業生を含む）雇用人数 | 0人 | 2人 | 3 人 | ◆iスマイル　2人<br>◆JA今金町　1人 | ① | ①　② | | | |
| 交付金対象事業費計 | | | | 4,928 | | | | | | | | | | |

令和4年度　まち・ひと・しごと総合戦略に係る地方創生事業の内訳

資料3

●基本目標 1.　今金町における安定した雇用を創出する

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 前年度予算 | 予算額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり | ・障がい者雇用促進事業 | 1,620 | 1,080 | 保健福祉課 | |
| 地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興 | ・地域力再生プロジェクト事業 | 997 | 897 | まちづくり推進課 | |
| | ・ソーシャルタウン今金推進協議会補助事業 | 4,928 | 4,100 | まちづくり推進課 | |
| 産業後継者の育成奨励 | ・産業後継者育成奨励事業 | 0 | 1,700 | 農林振興課 | |
| 担い手の育成対策の強化 | ・担い手対策事業 | 4,000 | 4,000 | 農林振興課 | |
| 空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信 | ・空き店舗活用事業 | 372 | 300 | まちづくり推進課 | |
| | 計 | 11,917 | 12,077 | | |

●基本目標 2.　今金町へ新しいひとの流れをつくる

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 前年度予算 | 予算額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 定住・移住対策に係る条件整備の構築 | ・新住宅リフォーム助成事業 | 15,000 | 15,000 | まちづくり推進課 | |
| | ・新マイホーム取得奨励事業 | 6,000 | 6,000 | まちづくり推進課 | |
| | 計 | 21,000 | 21,000 | | |

●基本目標 3.　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 前年度予算 | 予算額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積極的な結婚支援や社会気運の醸成 | ・結婚新生活支援事業 | 600 | 600 | まちづくり推進課 | |
| 町の特性を活かした子育て支援の推進 | ・不妊症治療費等扶助費 | 1,000 | 1,000 | 保健福祉課 | |
| | ・子ども医療費扶助費（医療費軽減） | 19,225 | 19,225 | 保健福祉課 | |
| 子育て支援による働きやすい環境をつくりだす | ・認定こども園いまかね施設給付費扶助費（保育料軽減） | 13,135 | 8,524 | 教育委員会 | |
| | 計 | 33,960 | 29,349 | | |

●基本目標 4.　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

（単位 ： 千円）

| 具体的な施策 | 事業名 | 前年度予算 | 予算額 | 所管課 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 現在の生活基盤の維持のための支援の実施 | ・デマンドバス運行事業 | 4,230 | 8,000 | まちづくり推進課 | |
| 広域連携による経済の活性化 | ・北渡島檜山4町連携事業 | 658 | 627 | まちづくり推進課 | |
| | 計 | 4,888 | 8,627 | | |

| 総計 | 71,765 | 71,053 |
|---|---|---|

資料４

# 地方創生に係る交付金活用事業内訳

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 26年度<br>(繰越明許費) | 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金<br>(地方創生先行型) | 交付金額 | 32,607 千円 |
| 2 | 26年度<br>(繰越明許費) | 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金<br>(地域消費喚起・生活支援型) | 交付金額 | 16,788 千円 |
| 3 | 27年度<br>(繰越明許費) | 地方創生加速化交付金 | 交付金額 | 43,576 千円 |
| 4 | 28年度 | 地方創生推進交付金 | 交付金額 | 5,000 千円 |
| 5 | 28年度<br>(繰越明許費) | 地方創生拠点整備交付金 | 交付金額 | 48,000 千円 |
| 6 | 29年度 | 地方創生推進交付金 | 交付金額 | 9,800 千円 |
| 7 | 30年度 | 地方創生推進交付金 | 交付金額 | 8,225 千円 |
| 8 | 31年度 | 地方創生推進交付金 | 交付金額 | 5,925 千円 |
| 9 | 令和2年度 | 地方創生推進交付金 | 交付金額 | 2,450 千円 |
| 10 | 令和3年度 | 地方創生推進交付金 | 交付金額 | 2,464 千円 |
| 11 | 令和4年度 | 地方創生推進交付金(該当事業無し) | 交付金額 | 0 千円 |
| | | 総 合 計 | | 174,835 千円 |

令和4年5月

まちづくり推進課

| 交付金名 | 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) | 交付金額　32,607 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 今金町総合戦略策定事業　外14事業 | 事業費　40,189 千円 | 26 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨　～「地域への好循環拡大に向けた緊急経済対策」

しごとづくりなど地方が直面する構造的な課題への実効ある取組を通じて地方の活性化を促すため、国の総合戦略に基づく事業を先行して実施する。

◎支援内容一覧

| | 区　分 | 総事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 今金町人口ビジョン・総合戦略策定事業 | 6,434 | 6,434 | |
| 2 | 産業後継者育成奨励事業 | 4,800 | 3,445 | 後継者 6名 |
| 3 | 就労支援事業 | 3,252 | 2,490 | 就労支援者 2名 |
| 4 | 担い手対策事業 | 3,549 | 2,297 | 担い手対策協議会 |
| 5 | 空き店舗活用事業 | 372 | 285 | 今金町商工会 |
| 6 | 地域・特産品活性化事業 | 1,176 | 1,176 | 各種観光PR |
| 7 | 地域再生加速事業 | 1,800 | 1,378 | 地域再生加速協議会 |
| 8 | 高齢者交通料金助成事業 | 795 | 795 | 購入者 188名 |
| 9 | デマンドバス運行事業 | 2,650 | 2,307 | 地域交通協議会 |
| 10 | 障がい者交通料金助成事業 | 493 | 478 | 利用者 63名 |
| 11 | 出産記念品奨励事業 | 3,550 | 2,450 | 出産対象者 37名 |
| 12 | 産業後継者結婚対策推進事業 | 556 | 426 | 結婚対策推進協議会 |
| 13 | 就学前子育て支援事業 | 9,000 | 6,890 | 認定こども園 |
| 14 | 育ちの支援事業 | 1,368 | 1,368 | 認定こども園 |
| 15 | 檜山管内7町と東京都特別区連携事業 | 394 | 388 | 各種連携PR |
| 総合計 | | 40,189 | 32,607 | ← 補助率　81% |

| 交付金名 | 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（消費喚起・生活支援型） | 交付金額　19,785 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 消費喚起プレミアム商品券発行事業 | 事業費　79,725 千円 | 26 |

**事業概要**

◎交付金創設の趣旨　～「地域への好循環拡大に向けた緊急経済対策」

地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にスピード感を持って的を絞った対応をしていくため、緊急経済対策が効果を発揮するよう実施する。

◎事業概要

本町における経済対策として、プレミアム商品券を発行し、地域の消費喚起を図る。

◎支援内容

| 区　分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1　今金町プレミアム商品券発行事業 | 79,725 | 19,785 | 今金町商工会 |

・商品券発行　1枚 10,000円 × プレミアム率 30% = 13,000円
・発行枚数　6,000枚（10枚　1セット　600セット）
・総発行額　13,000円 × 6,000枚 = 78,000千円
・プレミア率　30%　⇒　国交付金　25%、北海道　5%

・商品券換金枚数　5,994枚
・消費喚起額　5,994枚 × 13,000円 = 77,922千円

・国庫交付金対象　5,994枚 ×　2,500円 = 14,985千円
（25%）　事務費　=　1,803千円
計　= 16,788千円 ･･･ A
・北海道交付金対象　5,994枚 ×　500円 =　2,997千円 ･･･ B

・国庫交付金・北海道交付金　合計額（A+B）　= **19,785千円 ← 補助率　100%**

| 交付金名 | 地方創生加速化交付金 ～ NO.1 | 交付金額　14,400 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 「にぎわい今金」雇用創出支援事業 | 事業費　15,167 千円 | 27 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業概要

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

| 区　　分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1　地域力再生プロジェクト補助金 | 6,200 | 5,900 | 今金町商工会 |
| ・関係機関との連携による障がい者就労サポート体制の構築事業に対する支援<br>・植物工場及び加工場設置による雇用拡大と新たな雇用スタイルを構築する事業に対する支援<br>・着地型観光体験、セミナー開催、空き店舗を活用した、まちなか賑わい事業に対する支援 | | | |
| 2　空き地空き店舗活用支援補助金 | 8,857 | 8,400 | 支援対象者 3名 |
| ・空き家空き店舗を魅力的な空間としてリフォームし利活用を図ることに対する支援 | | | |
| 3　ワーキングステイ推進事業 | 110 | 100 | 町有施設整備 |
| ・まちづくりや地域イノベーションに興味・関心があり、実践できる方で、場所を選ばずに自身の仕事ができる方の為の居住環境整備（町有住宅 1棟） | | | |
| 総 合 計 | 15,167 | 14,400 | ← 補助率 95% |

| 交付金名 | 地方創生加速化交付金 ～ NO.2 | 交付金額 15,511 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 海･山･川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業 | 事業費 15,511 千円 | 27 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業概要

観光資源の一部をバリアフリー化し、実際に障がい者等に体験してもらい意見聴取を実施。また、地域住民、関係職員、観光ガイドなどバリアフリーレジャーを支える人材の育成を図る。

◎支援内容

| 区　　分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 モニターツアー事業 | 3,500 | 3,500 | 今金町商工会 |
| ・クアプラザピリカ施設に宿泊してもらい、施設のバリアフリー化の促進に向けて意見聴取 | | | |
| 2 レジャー施設のバリアフリー備品購入 | 6,011 | 6,011 | 町有施設整備 |
| ・クアプラザピリカ障がい者用簡易トイレ<br>・クアプラザピリカセンターハウス昇降機<br>・レジャー用スノーモービル | | | |
| 3 レジャー施設のバリアフリー施設整備 | 6,000 | 6,000 | 町有施設整備 |
| ・クアプラザピリカセンターハウス1階トイレ改修<br>・レストハウストイレ改修 | | | |
| 総合計 | 15,511 | 15,511 | ← 補助率 100% |

| 交付金名 | 地方創生加速化交付金 ～ NO.3 | 交付金額　5,142 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 北渡島檜山4町の北海道新幹線開業による地域「食」と「観光」連携事業 | 事業費　5,158 千円 | 27 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業内容

北海道新幹線開業に伴い、新たに食分野を付加し、観光とリンクする取組を4町連携において集中的に展開を図り広域的な経済効果の一層の向上を目指す。

◎支援内容

| 区　分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1　食(物産)分野 | 1,511 | 1,511 | 4町協議会 |
| ・域内展示会とビジネス交流会の開催、物産カタログ製作<br>・専門家相談会、研修会の実施、テストマーケティングの実施<br>・東アジア圏をターゲットとした観光PR・販路拡大 | | | |
| 2　観光推進分野 | 3,449 | 3,433 | 4町協議会 |
| ・域内の魅力を食とパッケージにし、クーポンを付加してエリア全体のガイドブック製作<br>・観光動態調査の実施、食と観光フェアーの開催 | | | |
| 3　域内ネットワークの構築 | 198 | 198 | 4町協議会 |
| ・エリア内の団体や民間事業者等の連携を図り、持続可能な仕組みや体制を構築。 | | | |
| 総合計 | 5,158 | 5,142 | ← 補助率　99% |

| 交付金名 | 地方創生加速化交付金 ～ NO.4 | 交付金額 8,523 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 檜山管内7町と東京都特別区連携事業 | 事業費 8,523 千円 | 27 |

**事業概要**

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内7町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

| 区分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 東京都特別区との連携事業 | 3,644 | 3,644 | 檜山広域行政組合 |
| ・大田区民を対象としたモニターツアーの実施<br>・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催 | | | |
| 2 檜山管内7町との連携事業 | 3,431 | 3,431 | 檜山広域行政組合 |
| ・檜山管内プロモーションビデオ製作<br>・連携観光パンフレット製作及びホームページ開設<br>・地域リーダーシップの育成研修の実施 | | | |
| 3 移住・定住受入環境整備 | 1,448 | 1,448 | 町有施設整備 |
| ・ちょっと暮らし体験受入体制及び施設整備 | | | |
| 総合計 | 8,523 | 8,523 | ← 補助率 100% |

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 | 交付金額　5,000 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業 | 事業費　10,655 千円 | 28 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

28年度からの地方版総合戦略の本格的な推進に向け、地方創生の深化のため、自治体の自主的・主体的で先導的な事業を支援。地域再生計画を策定し認定後は、最長5年間、交付金として財政支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成28年8月30日付け)　平成28～30年度　3年間【1年目】

| 区　分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1　山村活性化地域協議会補助金 | 6,000 | 3,000 | 今金町商工会 |
| ・再生可能エネルギー活用調査事業<br>・新たな雇用スタイル構築及び障がい者雇用確立事業 | | | |
| 2　ハウス施設設置に伴う基盤整備 | 4,655 | 2,000 | 町有施設整備 |
| ・町有地敷地調査委託業務<br>・町有地敷地整備事業 | | | |
| 総合計 | 10,655 | 5,000 | ← 補助率　47% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生拠点整備交付金 【繰越明許費】 | 交付金額　48,000 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 観光いまかね地域活性化推進事業 | 事業費　101,811 千円 | 28 |

**事業概要**

◎交付金創設の趣旨

未来への投資に向けて、地方公共団体の地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組みに対して支援する。

◎事業内容

現在、休止中のクアプラザピリカプール施設を用途廃止し、来訪者及び地域住民が活動の拠点として利用できるスペース等を整備することで、周辺地域の持続的な維持及び活性化を図る。併せて、6次産業化を推進するためのスペースを整備し利活用を図る。

◎事業概要

※地域再生計画認定（平成29年2月24日付け）

| 区　　分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1　クアプラザピリカプール棟利活用事業 | 101,811 | 48,000 | 町有施設整備 |
| ・プール棟利活用　改修設計委託業務<br>・プール棟利活用　改修事業<br>当該施設は、宿泊施設、温泉施設、レストランなどと隣接しているため、周囲の施設と一体的な利活用を図り、新たな誘客を見込むものである。 | | | |
| 総合計 | 101,811 | 48,000 | ← 補助率　47% |

※交付金残の負担分は地方債対応 ← 充当率100%

※地域再生計画認定に不可欠な事業の先導性の理由

遊休施設を利活用し、新たな観光客誘致戦略と位置づけ、魅力ある観光地として来訪を促すことで、本町及び近隣町との広域的な観光振興が図られる。

また、北渡島檜山4町地域連携推進協議会の「食」と「観光」推進事業における拠点施設として位置づけ、休止中の施設を利活用することで、周辺町と連携事業の強化が図られ更に相乗効果が期待される。

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.1 | 交付金額 2,785 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業 | 事業費 5,568 千円 | 29 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全7町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け) 平成29～31年度 3年間【1年目】

| 区分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 受入体制整備事業 | 5,385 | 2,693 | 町有施設整備 |
| ・車椅子でも簡単に階段を昇り降り可能な階段用昇降機設置<br>・温泉棟における段差解消<br>・観光ガイドの配置 | | | |
| 2 人材育成事業 | 183 | 92 | |
| ・先進地視察及び研修会の実施 | | | |
| 総合計 | 5,568 | 2,785 | ← 補助率 48% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.2 | 交付金額　5,000 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業 | 事業費　10,000 千円 | 29 |

**事業概要**

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成28年8月30日付け) 平成28～30年度 3年間【2年目】

| 区　分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1　山村活性化地域協議会補助金 | 10,000 | 5,000 | 今金町商工会 |
| ・多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくりに対する支援<br>・障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりに対する支援<br>・栽培ハウス整備に係る支援<br>→農山漁村交付金申請者　実施主体　㈱TTNコーポレーション<br>①農・商工・福祉連携を図るための新たな雇用型植物工場経営基盤を確立支援する経費　3,000 千円<br>②太陽光、温泉熱を活用した栽培ハウス整備を支援する経費　5,000 千円<br>③まちづくり会社の設立を支援する経費　2,000 千円 | | | |
| 総合計 | 10,000 | 5,000 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.3 | 交付金額 1,974 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 檜山管内7町と東京都特別区連携事業 | 事業費 3,948 千円 | 29 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内7町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け) 平成29～31年度 3年間【1年目】

| 区分 | 事業費 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 檜山管内7町と東京都特別区との連携事業 | 3,948 | 1,974 | 事務局:上ノ国町 |
| ・エリア別個別戦略の推進<br>・滞在型旅行商品の造成・PR活動の実施『せたな・今金エリア 学生向けツアー、巡り花ツアー』<br>・受入体制及び受入環境の整備<br>・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催<br>大田区フェスタ 11月4日～5日 来場者数30万人 特産品販売 売上464千円<br>ひやま食と観光フェア 2月17日～18日 来場者数 2万人 特産品開発 売上 3,070千円 | | | |
| 総合計 | 3,948 | 1,974 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.1 | 交付金額 2,475 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業 | 予算額 6,950 千円 | 30 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全7町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け) 平成29～31年度 3年間【1年目】

| 区分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 受入体制整備事業 | 6,750 | 2,375 | 町有施設整備 |
| ・モニタリングツアー<br>・観光ガイドの配置<br>・観光施設バリアフリー化(補助対象外経費) | | | |
| 2 人材育成事業 | 200 | 100 | |
| ・先進地視察及び研修会の実施 | | | |
| 総合計 | 4,950 | 2,475 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.2 | 交付金額　4,000 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業 | 予算額　8,000 千円 | 30 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成28年8月30日付け) 平成28～30年度 3年間【3年目】

| 区　分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 山村活性化地域協議会補助金 | 8,000 | 4,000 | 今金町商工会 |
| ①まちづくり会社設立を支援する経費 ⇒ 4,100 千円<br>内訳<br>・地域内労働力不足を解消するための雇用シェリングシステム構築経費 400 千円<br>・障がい者の活躍できる労働環境の課題解決に向けた実証経費 2,550 千円<br>・多様な人材が地域で活躍できる新たなビジネス調査経費 1,150 千円<br>②加工品等業務拡大に向けた実証を支援する経費 250 千円 | | | |
| 総合計 | 4,350 | 2,175 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.3 | 交付金額 1,750 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 檜山管内7町と東京都特別区連携事業 | 予算額 3,500 千円 | 30 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内7町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け) 平成29～31年度 3年間【2年目】

| 区分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 檜山管内7町と東京都特別区との連携事業 | 3,500 | 1,750 | 事務局:上ノ国町 |
| ・エリア別個別戦略の推進<br>・滞在型旅行商品の販売活動及びPDCAサイクル検証経費<br>・受入体制及び受入環境のためのリーダー人材養成<br>・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催 | | | |
| 総合計 | 3,466 | 1,733 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.1 | 交付金額　2,475 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業 | 予算額　6,950 千円 | 31 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全7町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け) 平成29～31年度 3年間【3年目】

| 区　分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 受入体制整備事業 | 3,600 | 1,800 | 町有施設整備 |
| ・モニタリングツアー<br>・観光ガイドの配置<br>・観光施設バリアフリー化(補助対象外経費) | | | |
| 2 人材育成事業 | 0 | 0 | |
| | | | |
| 総合計 | 3,600 | 1,800 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.2 | 交付金額 1,750 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 檜山管内7町と東京都特別区連携事業 | 予算額 3,500 千円 | 31 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内7町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け) 平成29～31年度 3年間【3年目】

| 区分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 檜山管内7町と東京都特別区との連携事業 | 3,200 | 1,600 | 事務局:上ノ国町 |
| ・エリア別個別戦略の推進<br>・滞在型旅行商品の販売活動及びPDCAサイクル検証経費<br>・受入体制及び受入環境のためのリーダー人材養成<br>・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催 | | | |
| 総合計 | 3,200 | 1,600 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 ～ NO.3 | 交付金額　2,525 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業 | 予算額　5,050 千円 | 31 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け) 平成31～33年度 3年間【1年目】

| 区　分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 ソーシャルタウン今金推進協議会 | 5,050 | 2,525 | 今金町商工会 |
| ①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費<br>②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費<br>③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費<br>④販路拡大に係る連携事業に係る経費 | | | |
| 総合計 | 5,050 | 2,525 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 | 交付金額　4,900 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業 | 予算額　2,450 千円 | 2 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け) 平成31～令和3年度 3年間【2年目】

| 区分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1 ソーシャルタウン今金推進協議会 | 4,900 | 2,450 | ソーシャルタウン今金町推進協議会 |
| ①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費<br>②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費<br>③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費<br>④販路拡大に係る連携事業に係る経費 | | | |
| 総合計 | 4,900 | 2,450 | ← 補助率 50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

| 交付金名 | 地方創生推進交付金 | 交付金額　2,464 千円 | 年度 |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業 | 予算額　4,928 千円 | 3 |

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け)　平成31～令和3年度　3年間【3年目】

| 区　分 | 予算額 | 交付金額 | 支援先等 |
|---|---|---|---|
| 1　ソーシャルタウン今金推進協議会 | 4,928 | 2,464 | ソーシャルタウン今金町推進協議会 |
| ①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費<br>②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費<br>③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費<br>④販路拡大に係る連携事業に係る経費 | | | |
| 総合計 | 4,928 | 2,464 | ← 補助率　50% |

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

資料5

# 令和3年度企業版ふるさと納税の状況について

（単位:円）

| 寄附受領日 | 法人名 | 寄附金額 |
|---|---|---|
| R3.6.30 | 匿名希望 | 10,000,000 |
| R3.8.30 | 匿名希望 | 100,000 |
| R3.8.30 | 道路工業株式会社 | 1,000,000 |
| R3.11.4 | 株式会社シビテック | 1,000,000 |
| | 合　計 | 12,100,000 |

※令和4年度は地方創生推進交付金に該当する事業がなく歳入が見込まれませんので、企業版ふるさと納税に力を入れ歳入確保に努めております。

# ふるさと応援サイト

## 企業版ふるさと納税

### 企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税は、新たな民間資金の流れを呼び起こし、地方創生の取組を深化させることを目的として、平成２８年度に創設された制度です。

令和２年度税制改正では、税の軽減効果が最大約９割まで引き上げられ、地域再生計画の認定手続の簡素化など、大幅な見直しが実施されました。

### 今金町の取組

このような状況の中、今金町では第２次まち・ひと・しごと総合戦略をベースに、令和２年度末に地域再生計画（第５９回）の認定を受け、企業版ふるさと納税の募集を開始しています。

企業版ふるさと納税の実績概要（PDF）

### 寄付活用事業の概要

寄付金を財源とした活用事業は、若い世代の子育てを応援する事業（子ども医療費助成など）や安心な暮らしを守るマイホーム取得奨励金事業などに充てさせていただいております。

また、今金町へ新しい人の流れを作る分野では、今金町と隣町のせたな町が連携し、清流日本一・後志利別川が流れ、緑豊かな風景が広がるエリアの両町が手をつなぎ、２つの暮らしを合わせてお届けする「オンライン移住ツアー」などに取り組み、９月23日に実施いたしました。24組の方に参加していただきました。参加後のアンケートでは、今金町・せたな町に訪れたいという意見も多くいただきました。

この事業は、渡島半島振興地域広域連携促進事業として国の補助金の応援も受けておりますが、市町村負担もあることから、寄付金活用事業の一つとして掲げさせていただいています。

▼オンラインツアーの様子





▼周知チラシ




**興味をお持ちいただいた企業様は、是非、下記までお問合せ願います。**

お問い合わせ先

今金町役場　まちづくり推進課

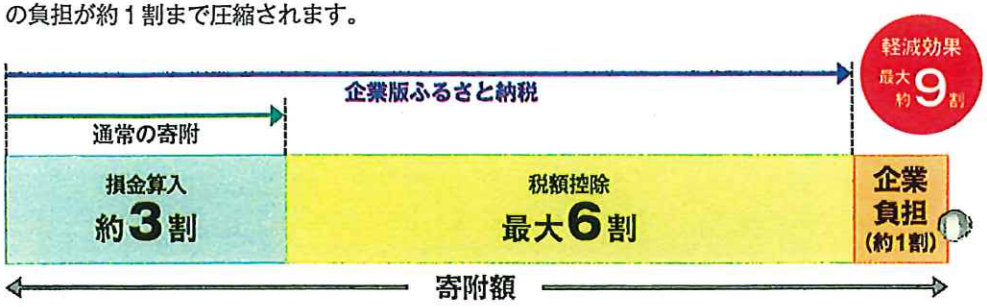
TEL：0137－82－0111

©2009-2014 今金町役場. All rights reserved.

# 1. 企業版ふるさと納税概要

平成28年度に創設された企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による軽減効果（寄附額の約３割）と合わせて、令和２年度税制改正により拡充された税額控除（寄附額の最大６割）により、**最大で寄附額の約９割が軽減**され、実質的な企業の負担が約１割まで圧縮されます。




例）1,000万円寄附すると、**最大約900万円**の法人関係税が軽減

（
①法人住民税 … 寄附額の4割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）
②法人税 … 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。
ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）
③法人事業税 … 寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）
）

**利用活用にあたっての留意事項**

- １回あたり**10万円以上の寄附**が対象
- 寄附を行うことの代償として**経済的な利益を受け取ることは禁止**
  例：×寄附の見返りとして補助金を受け取る　×有利な利率で貸付をしてもらう
- **本社が所在する地方公共団体**への寄附については、本制度の**対象外**
  ※この場合の本社とは、地方税法における「主たる事務所又は事業所」を指します
  例：A県B市に本社が所在する場合は、A県とB市への寄附は本制度の対象外
- **次の都道府県、市区町村**については、本制度の**対象外**
  i　地方交付税の不交付団体である都道府県
  ii　地方交付税の不交付団体であって、その全域が地方拠点強化税制における地方活力向上地域以外の地域に存する市区町村※
  ※首都圏整備法で定める既成市街地・近郊整備地帯など

## 令和２年度の主な改善ポイント

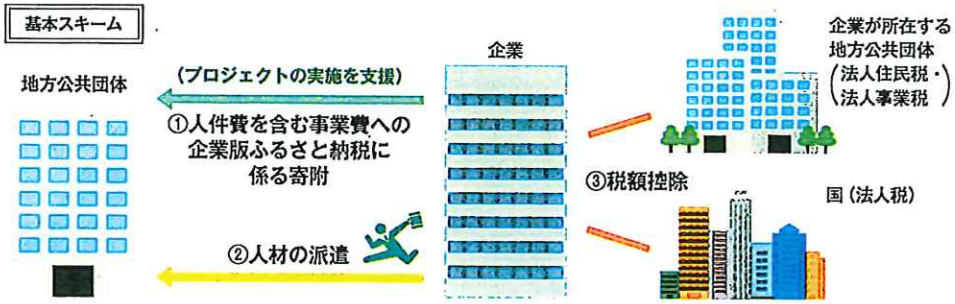
- **税額控除の特例措置の適用期間が令和６年度末まで延長**
- **税の軽減効果が、寄附額の最大約６割から最大約９割に**
- **地域再生計画の認定後、「寄附の金額の目安」の範囲内であれば、事業費確定前の寄附の受領が可能に**
- **地方創生関係交付金や地方財政措置を伴わない補助金・交付金に加え、併用可能な国の補助金・交付金を拡大**
- **地方版総合戦略の抜粋・転記による地域再生計画の申請・認定が可能に**

### ○○○ 制度の活用イメージ ○○○




# 2. 企業版ふるさと納税（人材派遣型）

企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材の地方公共団体等への派遣を促進することを通じて、地方創生のより一層の充実・強化を図るため、令和２年10月13日に「企業版ふるさと納税（人材派遣型）」を創設しました。




（「企業版ふるさと納税（人材派遣型）」とは、企業から企業版ふるさと納税に係る寄附があった年度に、当該企業の人材が、寄附活用事業に従事する地方公共団体の職員として任用される場合のほか、地域活性化事業を行う団体等であって、寄附活用事業に関与するものにおいて採用される場合をいいます。）

### 地方公共団体のメリット

1. 専門的知識・ノウハウを有する人材が、寄附活用事業・プロジェクトに従事することで、地方創生の取組をより一層充実・強化することができる
2. 実質的に人件費を負担することなく、人材を受け入れることができる
3. 関係人口の創出・拡大も期待できる

### 企業のメリット

1. 派遣した人材の人件費相当額を含む事業費への寄附により、当該経費の最大約9割に相当する税の軽減を受けることができる
2. 寄附による金銭的な支援のみならず、事業の企画・実施に派遣人材が参画し、企業のノウハウの活用による地域貢献がしやすくなる
3. 人材育成の機会として活用することができる

**活用にあたっての留意事項**

- 地方公共団体は寄附企業の人材を受け入れること及び当該人材の受入期間を対外的に明らかにすることにより透明性を確保
- 寄附企業への経済的利益供与の禁止や、地域再生計画に記載する効果検証の実施に留意　など

資料 6

# 令和3年度地方創生推進事業に係る参考資料

**基本目標1. 今金町における安定した雇用を創出する**

① ふるさと納税道内全国一(R3.7.31 道新記事)
② 今金男しゃく出荷始まる(R3.9.14 道新記事)
③ 特産イモのポテチ店頭に(R3.10.27道新記事)
④ 笑顔　今金発(R3.10.27道新記事)
⑤ 道内153市町村で活動　定着率72%(道新記事 R3.11.14)

**基本目標2. 今金町へ新しい人の流れをつくる**

⑥ 今金でラフティングツアー始まる(R3.8.6道新記事)
⑦ カブトムシ　手の上でじっくり(R3.8.20道新記事)
⑧ 今金・せたなオンライン移住ツアー(R3.9.23雑誌広告)
⑨ 今金の夜空に花火２千発(R3.10.28)

**基本目標4. 地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する**

⑩ 特定空き家　９月にも解体(R3.7.28 道新記事)
⑪ 清流日本一後志利別川河川清掃(R3.8.21チラシ)
⑫ スープカレー「いい香り」(R3.11.9 道新記事)

まちづくり推進課

# ふるさと納税 道内全国一

## 昨年度5割増975億円

総務省が30日に発表したふるさと納税の2020年度寄付総額で、道内は前年度比1・48倍の975億8000万円と過去最高となり、2年連続で都道府県別の1位になった。市町村別では紋別市が133億9300万円で全国2位、根室市が125億4600万円で3位と続いた。

道内の過去最高更新は8年連続で、前年度からの増加額は314億円と08年度の制度開始以来、最も高かった。市町村別では全国4位に釧路管内白糠町（97億3700万円）、20位に同管内弟子屈町（39億7100万円）が入った。

全国上位は海産物や和牛、農産品などを返礼品の目玉とする自治体が占めた。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「巣ごもり消費」で返礼品目当ての寄付が増えたほか、コロナに苦しむ地場産業への「応援消費」も後押ししたとみられる。

道内の上位も、海産物を返礼品とする海沿いの自治体が多かった。紋別市の道内1位は2年連続。弟子屈町は19位だった前年度から寄付額が4・25倍と急増し、4位に入った。後志管内島牧村は91万円と前年に続き道内で最も低かった。

20年度の全国の寄付総額は6724億9千万円と過去最高。返礼品競争の過熱を受けて、19年6月から返礼品は「寄付額の3割以下の地場産品」などに限定する新たな制度に移行した。

**ふるさと納税寄付額の道内上位10自治体（2020年度）**

| | 自治体 | 金額 | 前年度比（倍） |
|---|---|---|---|
| ① | 紋別市 | 133億9300万円 | 1.73 |
| ② | 根室市 | 125億4600万円 | 1.90 |
| ③ | 釧路管内白糠町 | 97億3700万円 | 1.45 |
| ④ | 同管内弟子屈町 | 39億7100万円 | 4.25 |
| ⑤ | 千歳市 | 32億2400万円 | 1.93 |
| ⑥ | 稚内市 | 26億 900万円 | 1.24 |
| ⑦ | 石狩管内当別町 | 19億4900万円 | 1.51 |
| ⑧ | 網走市 | 19億4500万円 | 1.47 |
| ⑨ | 渡島管内八雲町 | 19億3600万円 | 0.79 |
| ⑩ | 同管内森町 | 19億1600万円 | 1.19 |

※10万円単位を四捨五入

ふるさと納税は寄付額から2千円を引いた額が、居住地の住民税などから控除される仕組みで、21年度の住民税控除額は4311億4千万円。控除による税収減は、横浜市が176億9500万円と最も多く、次いで名古屋市の106億4900万円など。大都市から財源が流出する傾向が強まっており、札幌市も全国9位の51億3500万円だった。（竹中達哉）

# 今金男しゃく 出荷始まる

## GI登録「良い品質届けたい」

【今金】高品質の地域特産品をブランドとして保護する農林水産省の「地理的表示（GI）保護制度」に登録されている町特産のジャガイモ「今金男しゃく」の出荷作業が13日、今金町農協の選果場で始まった。

今金男しゃくは、道内では「夕張メロン」「十勝川西長いも」に次いで2019年にGI登録された。寒暖差がある気候で育つため、でんぷん含有率が13・5％以上と高く、ほくほくした食感が特長。町内では95戸が約370㌶で作付けしている。

この日はパート従業員約20人がコンベヤーで運ばれたジャガイモを大きさごとに選別。機械が形状や内部の空洞などをセンサーで見極め、10㌔単位で箱詰めした。主に東京方面に出荷され、1箱2300円前後で販売される。

同農協によると、今年は高温と干ばつの影響で、やや小ぶりだが、でんぷん含有率は高いもので16％ほどとなった。小田島親守組合長は「小玉傾向だが、でんぷん含有率は高い。GI登録されてから責任とプレッシャーはあるが、良い品質のものを届けていきたい」と話していた。

出荷作業は来年1月まで続き、今年は約8千㌧で約10億円の売り上げを見込んでいる。（塩野洋）



コンベヤーで運ばれた「今金男しゃく」を手作業で選別するパート従業員

# 特産イモのポテチ 店頭に

## 今金 Aコープ、今年も販売

R3 10/27

【今金】町特産のジャガイモ「今金男しゃく」を使った期間限定のポテトチップスの店頭販売が今年もAコープいまかね店で始まった。



Aコープいまかね店に設けられた「今金男しゃく」を使ったポテトチップスのコーナー

今金男しゃくは、2019年に高品質の地域特産品を守る農林水産省の地理的表示（GI）保護制度に登録され、知名度が上がっている。スナック菓子メーカーの湖池屋（東京）は早くから素材のおいしさに着目し、15年から毎年秋にオンラインショップで限定販売している。

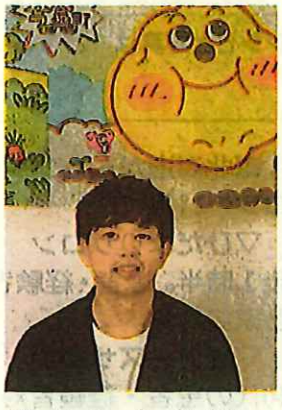
同店では18日に店頭販売を始めた。「うすしお味」「のり塩」の2種類で、1袋75㌘入りで250円。6袋入りの1箱が1480円。原料がなくなり次第、終了。店では買い物客が次々と手に取ってかごに入れ、箱で購入する姿もあった。

今金町農協経済部店舗購買課の湯元則仁課長は「函館や札幌から買いに来たお客さんもいた。年々人気が高まり、発売時期を楽しみにしている人もいるようだ」と話した。（塩野洋）

笑顔

今金発

R3.10.27



## 地域おこし協力隊員　本田（ほんだ）　公平（こうへい）さん（26）

9月に今金町の地域おこし協力隊員として着任し、障害者を雇用している一般社団法人「i・スマイル」に派遣された。交流施設「にぎわいプラザひだまり」でカフェの運営などを行っている。

胆振管内旧洞爺村出身で小中高時代は今金町で育った。奈良県の宗教系の専門学校で学んだ後、東京で宅配の仕事をしていた。今金町に戻ったのは8年ぶり。「人が減ったなあと感じた。でも食に恵まれ、自然豊かで人も温かい。ここで育った自分は恵まれていたんだと感じた」という。

今後は地産地消を目指してカフェのフードメニューやまちおこしも考えていくという。「一度町を離れたからこそ分かる地元の魅力を発信していきたい」（塩野洋）

地域おこし協力隊員は自治体の募集に応じ、都市部から過疎地域に原則1～3年の任期で移住し、新たな特産品を作ったり、農林水産業に就いたりして地域の活性化に取り組む。道によると、2020年度に道内で活動したのは153市町村で686人に上り、全国の都道府県で最多だった。

総務省によると、制度が始まった09年度は全国で89人だったが、20年度は前年度比115人増の5464人となった。新型コロナウイルスの感染拡大で、都市部に居住する人らの間で地方暮らしへの関心が高まったことなどが背景にあるとみられる。

## 道内153市町村で活動 定住率72%

令和3年1月14日(日)

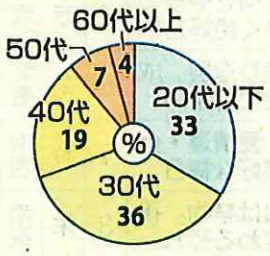
道内の市町村で隊員数が最も多いのは上川管内東川町の48人、次いで後志管内ニセコ町23人、三笠市19人、胆振管内厚真町18人と続いた。弟子屈町は釧路管内で最多の8人だった。

道内の協力隊員の内訳は男性59%、女性41%。過去5年間で女性の割合が初めて40%を超えた。年齢構成=グラフ=は全国と比べて、20代以下が2ポイント、60代以上は1ポイントそれぞれ高かった。一方、40代は2ポイント低かった。

隊員の赴任前の居住地は札幌市が32%、首都圏31%、道内他市町村17%、近畿圏8%など。「都府県と比べ、道内から道内への移動が多いのが特徴」(道地域政策課)という。

北海道は定住率も高い。任期を終えた隊員912人のうち、赴任先かその近隣自治体に住んでいる人は、20年3月時点で72%に当たる658人だった。全国平均の63%を上回った。

**道内地域おこし協力隊員の年齢構成**




※道の資料を基に作成。小数点第1位を四捨五入しており、合計100%にならない

## 女性の割合 40%超え

# 盛夏 水辺 涼やかに

## 今金でラフティングツアー始まる

## 日本一の清流 ゆっくりと



後志利別川でラフティングを楽しむ親子連れ

【今金】夏本番を迎え、町内美利河地区を流れる後志利別川でラフティングツアーが始まり、涼を求める人たちでにぎわっている。同川は、国土交通省が全国の1級河川を対象に行う水質調査で20回にわたって「最も良好」と評価する清流日本一の川。静かなせせらぎと水の透明度が人気だ。

同地区などでアウトドアツアーを行うピリカ自然塾（石川佳洋塾長）は1日、今夏初のラフティングツアーを実施。函館市や七飯町などから約20人の親子連れが参加した。ヘルメットやライフジャケットなどを身に着け、2艇のゴムボートに分乗し、2キロほどを約1時間半かけてゆっくり下った。

札幌管区気象台によると、この日の今金町の最高気温は平年より6・3度高い31・9度。照りつける日差しの中、子供たちはボートの上で水をかけ合うなどして大はしゃぎ。流れが緩やかなため、涼を求めて川に入る人もいた。参加者は「水が透明できれいだった」「自然の中で癒やされて気持ち良かった」と満足そうだった。

ラフティングツアーは予約制。問い合わせは同塾☎080・6072・6660へ。（塩野洋）

電子版Dに動画

# カブトムシ 手の上でじっくり

## 今金に放し飼い施設オープン

【今金】檜山管内今金町が、放し飼いのカブトムシを間近で見たり触ったりできる「カブトムシハウス」を町の複合観光施設クアプラザピリカ内にオープンした。道内は冬の寒さでカブトムシが繁殖することは少ないが、町内では川岸などにある流木で繁殖しているのが確認され、流木を運び込んだところ羽化に成功した。旅行情報誌を発行するリクルート北海道じゃらん（札幌）によると、こうした施設は珍しいという。（塩野洋）



ハウス内でカブトムシを見て楽しむ子ども

ハウスは同施設内のキャンプ場近くに設置。鉄骨にネットを張った計2棟（約60平方㍍）からなり、カブトムシが羽化し始めた1日にオープンした。流木やネットに多数のカブトムシがとまり、子どもの人気を集めている。

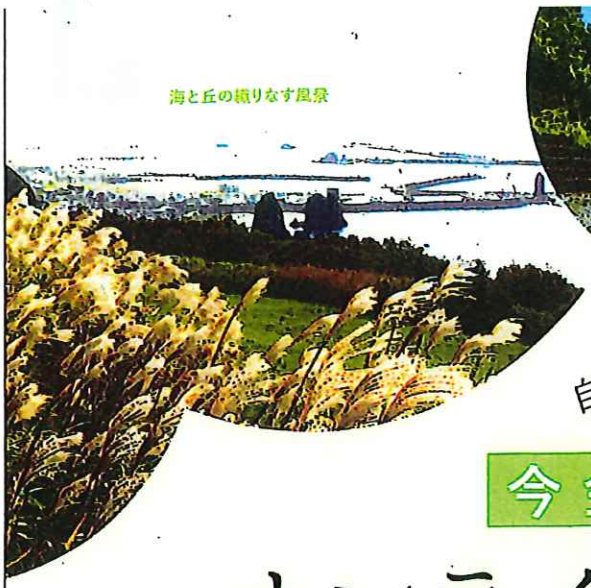
カブトムシはもともと道内に生息していなかったが、道外から持ち込まれたものが野生化している。同ハウス用の流木はその周りの腐葉土とともに町内の美利河ダムや後志利別川周辺から運んだ。腐葉土が微生物の活動で微熱を帯び、繁殖できる環境になったとみられる。

キャンプ中に見学に訪れた兵庫県宝塚市の小学5年、荒井祥平君(10)は「北海道にこんなにカブトムシがいるとは思わなかった。自然の豊かさを感じた」と興奮気味。町まちづくり推進課は「道内ではカブトムシを見る機会がほとんどない。ここはほかのキャンプ場では味わえない楽しみ方ができる」と話している。

入場は10月中旬までの午前10時から午後6時まで。無料。希望者は、クアプラザピリカのフロントで受け付けが必要。

P7

northern style スロウ vol.68 Summer 2021
2021年7月25日発行　発行人・高岡誠　ソーゴー印刷株式会社　〒080-0046 北海道帯広市西1条北1丁目25 TEL.0155-38-4188 https://www.n-slow.com
定価990円（本体900円）







自宅から北海道へ！

## 今金 せたな 2町

# オンライン移住ツアー

*Online migration tour*

o sapporo

selana☆ ☆imakane

今金 せたな 車で約15分

今金 せたな 車で約2時間

o hakodate

清流日本一・後志利別川（しりべしとしべつ）が流れ、緑豊かな風景が広がる
エリアに位置する2つのまち。
農業が盛んな今金町と、農業・酪農が盛んなせたな町の
2つの暮らしを合わせてお届けします。
今金・せたなへの移住をご検討されている方はもちろん、
「まずはどんな町なのか知りたい！」という方も大歓迎です。
北海道移住への第一歩、
まずはオンラインで踏み出してみませんか？

**2021年9月23日（木・祝）13:00-15:00**

参加料金 無料　申込締切 9月10日(金)

**今金せたなのリアルな暮らし**

普段の買い物は？　どんな飲食店がある？
実際の町の様子を配信しながら、リアルな暮らしをお伝えします。

**おいしさの理由を訪ねて【特産品付き!】**

2町ともに一次産業が盛ん。生産者のもとをオンライン訪問し、
ツアー終了後においしい特産品をお届けします！

**先輩移住者インタビュー／役場担当者へのQ&A**

仕事や生活、移住に関して気になるあれこれにオンラインで
お答えするコーナーです。どんどん質問してくださいね。

※詳細なタイムスケジュールは申し込みページよりご確認ください。



**参加方法**

当日はZoomを使用しての配信となります。Zoomをインストールした
PCやスマートフォン、タブレットなどをご用意ください。
※ご予約成立後、ツアー3日前までにメールにて参加URLをお送り致します。
※Zoom使用時はなるべくお顔が映るようにしていただきます。




せたな町・村上牧場のチーズ



今金男しゃく



ご自宅から参加できます！



広々としたキャンプ場も

私たちがご案内します！

**Slow Travel HOKKAIDO**

雑誌「northern style スロウ」を発行する編集部が、体験型ツアーの企画を行っています。「チビスロウせたな町(2019年発行)」の取材を通して見つけてきた今金・せたなの魅力を、私たちなりの目線でお届けします！





**今金町・せたな町**

実際に町で暮らし、移住関係の業務を担当している役場職員がご案内します。暮らしのこと、移住に関しての相談ごとなど何でもお任せください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって日時を変更する場合があります。　※内容は一部変更になる場合があります。　※写真はすべてイメージです。

お申し込み・お問い合わせ先

ソーゴー印刷株式会社　クナウマガジン
Slow Travel HOKKAIDO
北海道帯広市西1条北1丁目25　TEL.0155-38-4188
土・日・祝専用 TEL.080-9619-4005　slh@slow-life-hokkaido.com

下記ホームページまたはお電話にてお申し込みください！

Slow Life HOKKAIDO
https://slow-life-hokkaido.com/ja

HP

雑誌81429-68　P8
4910814296819
00900

# 今金の夜空に花火２千発

## 「久しぶりに癒やされた」

RJ 10/28



今金の秋の夜空を美しく彩った花火

【今金】新型コロナウイルスに負けるな―を合言葉にした花火大会が24日夜、町内で行われ、約2千発の花火が秋の夜空を美しく彩った。

「Re☆Startいまかね」と題し、町や町商工会などでつくる実行委員会が主催。新型コロナの影響で祭りやイベントの中止が相次ぐ中、地域に元気を取り戻そうと、これまで中止になった催しの予算を充てる形で行った。

花火は町総合公園から打ち上げられた。大きな音とともに赤や青、オレンジの光の輪が夜空に広がると、「きれい」「大きい」などの声が上がった。小さな子どもを連れた母親は「しばらくの間、出かける機会が少なく、楽しいことがあまりなかった。きょうは久しぶりに心が癒やされました」と満足そうに話していた。（塩野洋）

# 特定空き家 9月にも解体

## 福島町、略式代執行で

### 渡島・檜山管内で初

【福島、木古内】福島町豊浜地区にある倒壊の恐れがある空き家1戸について、町は空き家対策特別措置法に基づき、9月にも「略式代執行」で解体する。所有者に代わって、町が解体費を全額負担した上で権利関係者に費用を請求する仕組みで、道によると、略式代執行による空き家の解体は、渡島、檜山管内で初めて。（大庭イサク）



解体が予定されている福島町豊浜地区の空き家

町によると、2018年度に確認された町内の空き家は221戸。このうち7戸は、倒壊の危険があったり、地域住民の生活や景観に影響を与えたりする「特定空き家」に該当する。特定空き家については、15年に施行された特措法に基づき、要件を満たせば行政が強制的に解体できるようになった。

今回、町が解体する空き家は築47年の木造2階建て。所有者が07年に亡くなり、法定相続人も相続放棄の手続きを済ませているという。壁の一部が崩れ、地震や大雪などで崩壊する危険があるため、隣接する住宅に被害が及ぶことを懸念した町内会などは19年11月、町に解体を要望。解体費は町がいったん負担し、9月にも解体作業に着手する。

渡島管内西部の自治体では、木古内町が特措法施行前の14年に倒壊の危険があった木造倉庫1棟を条例に基づき、緊急安全措置で取り壊した。

人口3772人（5月末現在）の福島町は、15年時点で266戸の空き家があったが、町は16年度から、空き家を解体する際の費用を半額補助する制度を導入し、空き家は減少。ただ、町建設課は「人口減が進む中、空き家は今後も出てくるだろう」とみる。

鳴海清春町長は「所有者が既に亡くなっているケースも多く、空き家の解体は難しい。町民の安全に関わる事案については、今後も代執行を含め、必要な措置を講じていきたい」としている。

全国最多通算２０回目の

# 清流日本一 後志利別川

# 河川清掃

**と　き　令和3年8月21日(土)**
**午後1時30分集合**

**ところ　今金河川事務所前集合(字今金414-7)**

**その他　小雨決行**



これからも日本一の清流である後志利別川を誇りに思い
この大切な自然を守っていきましょう。

- 町民の方のたくさんのご協力をよろしくお願いいたします。
- 軍手、ごみ袋は支給いたします。
- コロナ感染防止のため、密をさけての活動にご協力ください。

主催　/　NPO法人　後志利別川清流保護の会
（瀬棚郡今金町字今金280-10　竹内宅 TEL82-0551）
協力　/　函館開発建設部　今金河川事務所

# スープカレー「いい香り」

R3/11/9

## 「らっきょ」井手さん 今金小で食育教室

【今金】今金町農協（小田島親守組合長）は、児童を対象にした食育教室を今金小で開いた。児童たちは札幌の人気スープカレー店「札幌らっきょ」を営む井手剛さんの指導を受けながら、町特産のジャガイモ「今金男しゃく」や黒毛和牛肉などを使ったスープカレー作りに挑戦した。

地元の農畜産物への理解を深めてもらおうと、同農協が企画。2日に行い、今金小と種川小の6年生計約40人が参加した。

児童たちは、クミンやコリアンダーなど数種類のスパイスを前に「いい香り」と大喜び。井手さんの手ほどきで、地元産のブロッコリーやカブ、ミニトマトなども使った彩りも美しいスープカレーを仕上げ、みんなで「おいしい」と満足そうに味わった。

この日は、同農協企画審査課の工藤耕治課長が、高品質の地域特産品を守る農林水産省の「地理的表示（GI）保護制度」に登録されている今金男しゃくの歴史などについても紹介した。（塩野洋）



井手さんの調理の技を見ながら、スープカレー作りに挑戦する児童ら（町提供）